

小矢部市新庁舎整備基本設計（案）に対するパブリックコメント結果

- 1 募集期間 令和7年6月27日（金）～7月17日（木）
- 2 意見提出方法 市ホームページ内の意見募集フォーム、意見書回収箱への投函など
- 3 意見提出者数 33人（72件）

No.	意見箇所	意見概要	意見に対する回答
1	3. 防災計画	新庁舎は災害時の災害対策拠点とされていますが、災害時地域住民の一時避難場所として利用できますか？基本方針1～5に住民の一時避難場所として一言も明記されていませんが？使用可能にすべきではないか、屋上等に避難スペースを設置してはどうか。	新庁舎は避難所ではないため、長期間にわたる避難は考えておりませんが、一時的な避難は可能と考えております。屋上については、太陽光発電、自家発電設備などの設備機器を設置することから避難スペースを設けることは難しいと考えております。
2	3. 防災計画	災害対策拠点としての機能を維持するため、非常用自家発電機による電源など、ライフラインが確保されていることは評価できる。しかし、災害が大規模の場合、一時的に市民の避難所とすることができるスペースが必要だと思う。	大災害時の一時避難については、駐車場及び庁舎内の空きスペースを想定しております。
3	3. 防災計画	新庁舎整備基本計画を拝見しました。 シンプルですが、周辺地域との調和に配慮されたバランスの良い外観と思います。環境面においても、様々な技術を取り入れられ、省エネルギー化を図るとされており、内部は、利用者と職員が働くエリアが上手くゾーニングされ、誰もが使いやすく機能的な設計になっていると思います。新庁舎は、機能性・景観調和・省エネ性能・公共性の全てを兼ね備えており、将来の小矢部市のまちの顔としてふさわしい建築ではないかと思えます。更には、外皮性能向上による一つ上の省エネルギー化を目指していただくことと、北陸でも頻発化・甚大化する自然災害に強い庁舎に加え、市庁舎敷地内でも万一の被災者に配慮したトイレや炊き出しなどの設営スペースと給排水設備をご検討いただければと思います。 今後の実施設計・施工において、設計意図の忠実な反映と、一日でも早く建設されることで、安全・安心な小矢部市になることを期待しております。	設計意図をご理解いただき、誠にありがとうございます。 新庁舎1階には災害時にも利用できるトイレを外部から利用できるよう計画しております。新庁舎は避難所ではないため、被災者に配慮した炊き出しなどの設営スペースは避難所での確保が優先されると思いますが、災害に強い庁舎となるよう検討してまいります。 外皮性能向上による省エネルギー化については、ZEB Readyの実現を念頭に、実施設計において検討してまいります。
4	3. 防災計画	災害対策拠点施設としての当設計は、概ね、整ってると思えます。強いて言えば、食堂が精細な記載が無いので、わかりません。 以前にも提案しましたが、災害時にも機能する、サラダ等の緑の野菜がこの時代、日持ちが長く、自動販売機等で食する事が出来ます。被災経験者の方の意見をお聞きする機会に、告げられたのは野菜が食べたかった。便秘になった等の意見です。冷凍技術や品質保持機能は今日は、整っています。 ぜひ、食堂には何時でも、摂取できる野菜、サラダ等に無人販売機があれば、普段からの職員の栄養摂取にも、いいのでは。	新庁舎においても、職員の福利厚生観点から、食堂を事業者に運営いただく予定としております。いただいたご意見については、災害対策拠点施設の機能として必要かどうか今後の参考にさせていただきます。
5	3. 防災計画	ヘリポートが必要ではないか。	新庁舎はヘリコプターを活用した災害対応活動との直接的な関連性は低く、また、文化スポーツセンター、石動小学校、石動中学校など近距離にはヘリコプターの離着陸ポイントがあることから、新庁舎にヘリポートは整備しないこととしております。

No.	意見箇所	意見概要	意見に対する回答
6	4. 構造計画	建築被害を最小限に抑えられると記載されてるが最小限とはどの程度のことを考えているのでしょうか。	免震構法の建築被害については、地震直後において構造体の損傷が微少で、内外装材、設備機器の損傷及び家具の転倒が無く、修復費を低く抑えられると考えております。
7	5. 配置計画	駐車場出入口の道路は現状でもいつも信号待ちで混雑している。そこに出入口を作るとさらに渋滞に拍車がかかる。周りの道路を広げる、そばの横断歩道を他へ移設する、入口と出口は別にして一方通行にするなど考えるべき。	新庁舎整備にあわせて、東側道路を拡幅し、新庁舎に進入する右折車用に滞留スペースを設置する予定としており、出入りによる渋滞は緩和されると考えております。また、北側、西側道路の拡幅、南側道路の歩道の拡幅など、安全性及び利便性を考慮した周辺道路の改良を計画しております。
8	6. 立面計画	RC打ち放しのテクスチャーが小矢部市に相応しいのか疑問です。外観のテストも一昔前に流行ったような外観です。黒瓦の街並みのすぐそばに建つ公共建築として、ハコ（フラット屋根）が並んだ外観はどのような検討プロセスがあったのか知りたいです。落雪の配慮は当然必要ですが、構造上RCだからフラットというような安易な決め方でないと思っています。	外壁については、降雨量や積雪を考慮してコンクリート打放しの上、保護塗装を行うことにより、耐久性・耐候性の高い仕上げを計画しております。屋上には太陽光発電、自家発電設備などの設備機器を設置することからフラットな屋上としております。 「ハコが並んだように見える外観」に至った検討プロセスについては、新庁舎が街並みに圧迫感を与えないよう、単調で大きな壁面を避け、長い壁面に区切りを入れ建物が分かれているように見せることで周辺の街並みに合わせるとともに、部分的に壁面を道路から後退させることで、街並みへの圧迫感の低減を図っております。 落雪への対応としては、勾配屋根とせず陸屋根とし、200cmの積雪荷重に耐える構造計画としております。
9	6. 立面計画	道路側の面が揃っているのが圧迫感を感じるので、部分的にもっとひきをと、奥行き感が出る外観が良いように感じます。小矢部市として誇れる建物になることを願っています。	道路側に対し、新庁舎が街並みに圧迫感を与えないよう、単調で大きな壁面を避け、長い壁面に区切りを入れ建物が分かれているように見せることで周辺の街並みに合わせるとともに、部分的に壁面を道路から後退させることで、街並みへの圧迫感の低減を図っております。 いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。
10	6. 立面計画	すごく良いと思います。少し前に流行ったルービックキューブを回したようなイメージです。ベターとしたものでなく、躍動感があります。あのでこぼこした感じが良いと思います。訪れるお客様と、中で働く職員が安心・安全でわかりやすくあれば、一番だと思います。カラーについては、やはりさわやかな色にしてほしいと思います。石動駅の色も、いまの庁舎のような色でした。ちょっと変わったらと思います。	新庁舎は小矢部市の安全を守る災害対策拠点となることから、市民の皆様や職員にとって、安全・安心な庁舎となるよう計画しております。また、わかりやすい案内表示などにより、誰もがわかりやすく使いやすい庁舎となるよう進めてまいります。 カラーに対するご意見については、今後の参考にさせていただきます。
11	6. 立面計画	デザイン重視で建設コストが予算以上にかかりそうです。建設コストが国の補助金で賄えるとは言っても、地元負担は必ず発生すると思いますのでもっと簡略化された設計が必要です。無駄に高さの違う建物の配置が見受けられ、建設後の雨漏り等のメンテナンス費用も馬鹿にならないと思われます。市民交流プラザのようなすっきりとしたデザインの方が良いと思います。	市民や職員にとって使いやすく利便性が得られる平面計画を最優先に考え、また、建設コスト増の最大の要因となる延床面積を抑えることを念頭に検討してきた結果の計画であり、コストが抑制できる合理的な計画であると考えております。決して外観のデザインを重視したものではありません。 建物の高さについては、4階議場部分の天井が高くなっており、また、屋上に非常用自家発電機などの機械器具類等を置く部分については、必要に応じて壁を立ち上げる計画としております。これにより、目隠しルーバー等の設置が不要となり、防音効果も得られます。なお、議場と屋上出入口の屋根以外は、屋根の高さが一定であるとともに、屋上まで階段及びエレベーターが利用できる計画とすることで点検経路は確保されるので、日常点検による防水などの不具合が早期に発見でき、修繕費及び維持管理を抑制できると考えております。

No.	意見箇所	意見概要	意見に対する回答
12	6. 立面計画	もっと開放的な、ガラス部分があればいい。	ガラス部分を増やすと建設コスト・ランニングコストが増大するとともに、日射熱により空調エネルギーが増大することから、熱負荷が大きいガラス面積を減らして、コストの抑制と高い環境性能の実現を図った計画としております。 ガラス部分の面積については、いただいたご意見を参考にしながら、今後、実施設計の初期の段階で検討してまいります。
13	6. 立面計画	<p>新庁舎建設基本設計案に関する意見書 このたび公表されました新庁舎建設基本設計案につきまして、以下のとおり意見を申し述べます。</p> <p>まず、市民の安全・安心に資する防災機能や免震構造など、先進的な取り組みが盛り込まれている点については高く評価いたします。この新庁舎が、今後の小矢部市の発展を支える拠点となることを大いに期待しております。</p> <p>一方で、現在示されている外観パースについては、斬新さが際立つ一方、公共施設としての落ち着きや威厳、親しみやすさに欠ける印象を受けます。また、窓が少なく壁面の多い構造は、将来的な維持管理や清掃の面でも大きな負担となる懸念があります。</p> <p>長く市民に愛され、誇りを持てる庁舎となるよう、シンプルで調和のとれた、窓の多いデザインへの再検討をお願い申し上げます。</p> <p>庁舎の外観は市の「顔」であり、市民や来庁者が安心と愛着を持てる施設であることが重要です。何卒ご配慮賜りますようお願い申し上げます。</p>	<p>窓部分を増やすと建設コスト増となるとともに、壁面に比べて維持管理費用がかかることになり、また、日射熱により空調エネルギーが増大することから、熱負荷が大きい窓部分を減らして、コストの抑制と高い環境性能の実現を図った計画としております。</p> <p>窓部分の面積については、いただいたご意見を参考にしながら、今後、実施設計の初期の段階で見直しを含めて検討してまいります。</p> <p>引き続き、事業費の縮減に努めながら、新庁舎が長く市民に愛される庁舎となるよう検討してまいりたいと考えております。</p>
14	6. 立面計画	<p>建物の外観写真(立面計画)を見ますと、デザイン重視で全体的に窓の面積が少なく感じます。窓の面積が多くなると冷暖房の空調費用が増加する反面、照明の費用が少なくなるので、どちらの方が経費が掛からないか要検討です。</p> <p>窓が少ないと日中常に照明が必要となり、職員や市民には閉塞感があるように思います。窓の面積が多ければ職員の皆さんや来庁する市民も、開放感があり快適に過ごせるのではないのでしょうか？</p>	<p>自然彩光による照明エネルギーの削減よりも、窓の面積の抑制などによる空調エネルギーの削減がより省エネルギー化を図ることができると考え、窓の面積を抑えた計画としております。また、窓の面積を増やしても、特に南側については直射日光を遮るためブラインドやカーテンなどを取り付けて閉めたままになってしまい、結果的に自然彩光もそれほどとれず、日射熱により空調の消費エネルギーが増大するというおそれもあります。</p> <p>窓の面積については、ご意見のとおり、職員や市民が閉塞感を覚えないように、今後、実施設計の初期の段階で検討してまいります。</p>
15	6. 立面計画	南西から見た外観についてどこか民間の倉庫観が漂う、もう少し窓を増やしオフィス観を醸しだしたほうが良いのではないかと、自然採光・風をより多く取り込む。また、周辺建物に近い建物スケールとし圧迫感の低減として4分割したような外観にしていますがそこまで考慮する必要があるのか。威風堂々と構えれば。	街並みとの調和及び圧迫感の低減を考慮した外観を計画しております。窓の面積については、今後、実施設計の初期段階で見直しを含め検討してまいります。
16	6. 立面計画	最上階スラブに断熱対策を施すべき。暑さ対策。	今後、実施設計で検討してまいります。
17	6. 立面計画	西部地区自治振興会で話しができました。西部地区そして小矢部市の顔で市庁舎の外観はシンプルすぎて華やかさがなく[表もですが特に裏の駐車場側が寂しい]。メンテナンスの事も考え凹凸の設計を考え直してほしい。振興会の皆さんの大半の意見でした。	市民や職員にとって使いやすく利便性が得られる平面計画を最優先に考え、また、建設コスト増の最大の要因となる延床面積を抑えることを念頭に検討してまいりました。コストや環境配慮などを総合的に検討した結果、シンプルな外観となっておりますが、いただいたご意見を参考にしながら、実施設計において見直しを含め検討してまいります。

No.	意見箇所	意見概要	意見に対する回答
18	6. 立面計画	<p>日頃より、小矢部市の発展と市民生活の向上にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。</p> <p>さて、現在、検討が進められております小矢部市役所庁舎について、市民の一人として、以下の点についてご配慮をお願い申し上げます。近年、多くの自治体では、「コンパクトな庁舎づくり」が進められています。これは、建設費の削減のみならず、将来的な維持管理費（メンテナンス費用）の削減にもつながる重要な視点です。特に、『一つの屋根の下（一棟）』・『庁舎らしい外観』に行政機能を集約することで、市民にとっても利便性が高まり、庁舎内の移動がスムーズになり、行政サービスの質も向上すると考えます。</p> <p>小矢部市においても、財政負担が年々増加する中、庁舎建設にあたっては、必要最小限の機能を備えたコンパクトな設計・簡素化とし、建設費の抑制はもちろん、将来の維持管理費を最小限に抑える視点を重視していただきたいと考えます。また、防災拠点としての役割を果たすためにも、耐震性の確保は当然のことながら、シンプルかつ堅実な庁舎計画を強く要望いたします。</p> <p>今後の小矢部市の持続可能な発展のためにも、『身の丈に合った庁舎』の実現を、心よりお願い申し上げます。</p> <p>以上、何卒ご検討くださいますようお願い申し上げます。</p>	<p>市民や職員にとって使いやすく利便性が得られる平面計画を最優先に考え、また、建設コスト増の最大の要因となる延床面積を抑えることを念頭に必要最小限の機能を備えた庁舎となるよう検討してまいりました。</p> <p>一見、別々の建物のように見えるかもしれませんが、建物内は一体となっており、市民の利便性や職員の働きやすさに配慮した計画としております。</p> <p>ご意見のとおり、建設コストだけではなく、ZEB Readyの実現による消費エネルギーの削減など、ランニングコストにも配慮しながら検討を進めてまいります。</p>
19	6. 立面計画	<p>平面図を見ても詳しい事は分かりませんが、パブリックコメントで言える事は外観のデザインです。地元産である瓦釉薬のタイル等を仕様とするのはいいアイデアだと思いますが、それにマッチする全体のデザインがいまいちです。</p> <p>箱を組み合わせたデザインでは、誰も市役所とはおもいません。</p> <p>正面玄関がみずばらしくみえます。</p> <p>市役所ですから、誰が見ても素晴らしいと思えるデザインにしてほしい。</p>	<p>市民や職員にとって使いやすく利便性が得られる平面計画を最優先に考え、また、建設コスト増の最大の要因となる延床面積を抑えることを念頭に検討してまいりました。コストや環境配慮などを総合的に検討した結果、シンプルな外観となっておりますが、いただいたご意見を参考にしながら、実施設計の中で検討してまいります。</p>
20	6. 立面計画	<p>建物の全体の外観が、配送センターや倉庫のように、見えて仕方がない。</p>	<p>市民や職員にとって使いやすく利便性が得られる平面計画を最優先に考え、また、建設コスト増の最大の要因となる延床面積を抑えることを念頭に検討してまいりました。コストや環境配慮などを総合的に検討した結果、シンプルな外観となっておりますが、いただいたご意見を参考にしながら、実施設計の中で検討してまいります。</p>
21	6. 立面計画	<p>南立面図から見て、新庁舎は、異なる大きさ、高さのいわば箱（建物）が4個（北側からみると多分3個。全体で7個）繋がって並んでいるように見え、窓も大きさ、形及び位置がバラバラである。このため、全体として、統一感がなく、不安定で、調和がとれていないイメージである。何をアピールしようとしているのか、わかりにくく、コンセプトの基本理念が表されているとは思われない。</p> <p>これでは、市民の宝、シンボル、そして今後50年の礎となる新庁舎として、小矢部市民のアイデンティティ足りうるだろうか。我々市民が、「誇りと愛着」を持って「自分たちの市庁舎だ」と、内外に向けて胸を張れるだろうか。残念ながら、無理ではないか。</p> <p>やはり、新庁舎は、統一感のある、調和がとれた、シンプルで堂々たる、安定感のある建物でなくてはならない。それでこそ、能登の大地震による大きな被害を乗り越えて、未来に向かって羽ばたこうとする新生小矢部市のメッセージが発信できるのではないか。何より市民の「希望」の象徴（シンボル）でなくてはならないと思う。これがコンセプトではないか。</p>	<p>新庁舎が街並みに圧迫感を与えないよう、単調で大きな壁面を避け、長い壁面に区切りを入れ建物が分かれているように見せることで周辺の街並みに合わせるとともに、部分的に壁面を道路から後退させることで、街並みへの圧迫感の低減を図っております。</p> <p>市民や職員にとって使いやすく利便性が得られる平面計画を最優先に考え、また、建設コスト増の最大の要因となる延床面積を抑えることを念頭に検討してまいりました。コストや環境配慮などを総合的に検討した結果、シンプルな外観となっておりますが、いただいたご意見を参考にしながら、実施設計の中で検討してまいります。</p>

No.	意見箇所	意見概要	意見に対する回答
22	6. 立面計画	<p>窓は、配置、形及び大きさに統一性を持たせ、リズムカルなものにすべきである。</p> <p>壁面は、北側か南側を、全体的に、例えば近年リフレッシュした富山県民会館大ホールのように（NHKローカルニュースの終わりに等によく映る）大胆なデザインと明るいスッキリした色合いにして、市民の「希望」のシンボルとなるようなものにすればどうか。</p> <p>そして、壁面東側と西側に市内各小中学校の生徒が夢や希望をイメージするデザインを描き、それを外壁に図案化して貼り付ければ（他の方法でも可）どうか。こうすれば、小矢部の将来を背負うのはこのデザインを作った生徒達だと市民全体が世代を超えて一体感を持てるだろうし、また、生徒達にも、私たちが新庁舎づくりに参加したと、来るたびに当市への誇りと愛着が育まれてくるのではないか。</p>	<p>窓の配置等については、いただいたご意見を参考にしながら、今後、実施設計の初期の段階で見直しも含め検討してまいります。</p> <p>壁面へのご意見については、シンプルな外観とすることを優先させていただきたいと考えております。</p>
23	6. 立面計画	<p>黒色の瓦をイメージした黒色のタイルの使用は、黒色瓦のある周りの街並みや往時の地元の瓦産業に由来するとされる。しかし、①周りの古いままの家々は、町並み保存的なことはされておらず、県内の高岡市金屋・吉久、富山市岩瀬、城端、八尾等と比較にならないもので、町並みとは言えない。②黒色瓦も、寺院は別として（その瓦は特注品で地元製ではないだろう）古いままの家々にある程度残っているだけである。さらに、③現在市内に残る瓦関係事業者は数社で製造業者は殆どなく、県外産色瓦の販売業者や工事業者で、かつての地場産業的なイメージは残っていない。こうした市内の現在までの流れからみて、市を象徴する新庁舎になぜそのような黒色瓦のイメージを出そうとするのか、出すに値するものなのか、相当疑問が残る。また、タイルは耐用年数も長くない（現庁舎の例）。これを採用すべき積極的な理由は見当たらないと思う。</p>	<p>黒瓦の軸葉を用いたタイルの使用については、いただいたご意見を参考にしながら、実施設計において見直しを含め検討してまいります。</p>
24	6. 立面計画	<p>いくつかの建物に分かれる形は、雪国にあっているのだろうか。へこんだところに雪の吹き溜まりがたまりやすい。そして、メンテナンスがしにくいのではないか。複雑な形は、建てるにも修理にもお金がかかると思う。シンプルな形が良い。数十年後のことを考えた設計が大切。</p>	<p>壁面の奥まった箇所が吹き溜まりにより1階に積雪した場合に備え、1階は全面ガラスではなくコンクリート壁を立ち上げることでメンテナンスフリーとなるよう実施設計の中で見直しを含め検討いたします。また、屋上については、200cmの積雪荷重に耐える構造計画とするとともに、容易にメンテナンスに向かえるよう階段及びエレベーターを利用できる計画としております。外観の形状については、一見複雑な形に見えますが、コストや環境配慮などを総合的に検討した結果、シンプルな外観となっております。</p>

No.	意見箇所	意見概要	意見に対する回答
25	6. 立面計画	<p>庁舎の外観等について意見いたします。</p> <p>現在のブロック分けし、北面もあえて揃えて無く、高さもそれぞれ違う庁舎には反対です。また、1階執務室の南側の全面ガラス張りは無駄に費用がかかり落ち着いた仕事もしづらと思いますので反対です。</p> <p>設計者や建築家の無理矢理理由を付けた自己満足の外観は小矢部市や市民に必要ありません。</p> <p>今後50年以上の長期使用を目指し、周期的、計画的な修繕、改修を行える躯体健全性の良好な建物にすべきで、質実剛健でシンプル（長方形）な構造、外観が飽きずに適切なメンテナンスや改修に係るコストが抑えられる庁舎だと思いますので修正を望みます。</p>	<p>北面の不揃いは、市民や職員にとって使いやすく利便性が得られる平面計画を最優先に考え、また、建設コスト増の最大の要因となる延床面積を抑えることを念頭に検討してきたものであり、コストや環境配慮などを総合的に検討した結果となっております。新庁舎の外観については、新庁舎が街並みに圧迫感を与えないよう、単調で大きな壁面を避け、街並みとの調和を図っているものであり、建物高さは、議場部分の天井が高く、また、屋上に非常用自家発電機などの機械器具類等を置く部分については、必要に応じて壁を立ち上げる計画としております。</p> <p>1階ガラス部分の面積については、いただいたご意見を参考にしながら、今後、実施設計の初期の段階で見直しを含め検討してまいります。</p> <p>長方形にしますと、廊下や共用スペースが多くなり、必要以上に延床面積が大きくなることもあり、面積が大きいほど建設費だけでなく、冷暖房や清掃などの維持管理費も増えてまいります。そのため、必要最小限の面積で抑える方が結果的にコストを抑えられ、使い勝手も良くなると考えております。</p>
26	6. 立面計画	<p>外観デザインを見ると個人的には工場のように見える、窓枠を多くして開放感のある開かれた市庁舎にして欲しい。</p>	<p>市民や職員にとって使いやすく利便性が得られる平面計画を最優先に考え、また、建設コスト増の最大の要因となる延床面積を抑えることを念頭に検討してまいりました。コストや環境配慮などを総合的に検討した結果、シンプルな外観となっております。</p> <p>ガラス部分を増やすと建設コスト・ランニングコストが増大するとともに、日射熱により空調エネルギーが増大することから、熱負荷が大きいガラス面積を減らして、コストの抑制と高い環境性能の実現を図った計画としております。</p> <p>ガラス部分の面積については、いただいたご意見を参考にしながら、今後、実施設計の初期の段階で見直しを含め検討してまいります。</p>
27	6. 立面計画	<p>庁舎らしくない外観を残念に思う。</p>	<p>外観については、街並みとの調和と圧迫感の低減を図るとともに、省エネルギー化を目指し環境共生型の庁舎となるよう計画しております。</p>
28	6. 立面計画	<p>庇や軒の出が無い為、外壁は汚れやすいことを懸念する。</p>	<p>外壁の汚れについては、汚れが付きにくい保護塗装を施工する計画としております。</p>
29	6. 立面計画	<p>「コンクリート打ち放しの上保護塗装」とあるが、建物として質感の低いものになることを懸念する。</p>	<p>建物外観の質感については、耐久性及び耐候性を優先したことから、コンクリート打放しの上保護塗装を施工する計画といたしました。</p>
30	6. 立面計画	<p>正面玄関が正面らしくないことを懸念する。</p>	<p>正面玄関の意匠性については、この後行う実施設計の中で、外装仕上げを検討してまいります。</p>
31	6. 立面計画	<p>木材、瓦、レンガはどのように使用されるとのことですが、瓦は屋根に、煉瓦は壁に用いるべき素材ではないでしょうか。</p>	<p>木材は内装仕上げに使用する計画としております。瓦は瓦の釉薬を利用したタイルを外壁に使用する計画としております。レンガは外構の通路や花壇に使用する計画としております。</p>
32	6. 立面計画	<p>一つの建物をさも8つ？の建物があるかのように外壁面、屋根面をバラバラにしてあるようですが、5、60年の耐久性のことを考えて適切であるのか。何か利点があるのか。免震層に載せるので、多少複雑な意匠性があっても構造的に無理が生じないということでしょうか。外部開口には庇が一切なく数年後には外壁の汚れが生じてしまうのではないですか。せっかく免震建物であるからもっと単純な建物にならないのでしょうか。単純な方が飽きが来なく良いと思うのですが。</p>	<p>立面計画については、市民や職員にとって使いやすく利便性が得られる平面計画を最優先に考え、また、建設コスト増の最大の要因となる延床面積を抑えることを念頭に検討してまいりました。コストや環境配慮などを総合的に検討したシンプルな外観となっております。外部開口の庇については、屋上からの窓清掃のし易さ、汚れが付きにくくなる保護塗装の施工等により、設けない計画としております。</p>

No.	意見箇所	意見概要	意見に対する回答
33	6. 立面計画	市役所は、多くの市民や、他の外来者がたえまなく訪れる場所であるから、誰が見てもこれは市役所だとわかる外観（役所らしい建物）であることが重要である。この役所の中で行われている公務は、間違いがなく公平であり、正義であると思えるような安定感と信頼感を訪れる者に抱かせるような外観であること。（一般的に公的な建物は、シンメトリーな建物が多くそこから安定感が生まれる。長期に渡るメンテナンスが容易であり、メンテナンス費用がローコストであること。	外観については、市民や職員にとって使いやすく利便性が得られる平面計画を最優先に考え、シンプルな計画としたところであり、シンメトリーではない部分については、余分な延床面積を削減した結果であります。ご意見のとおり、メンテナンスが容易かつローコストで行えるよう検討を重ねた計画としております。
34	6. 立面計画	小矢部は、雪国なので除雪が容易であること。	除雪のしやすさは重要であり、歩行者通路など除雪機械が入りにくいスペースには消雪装置の設置を検討しております。その他の駐車場等は機械除雪での対応を計画しております。
35	6. 立面計画	夏の暑さ、冬の寒さの外気温をなるべく遮断する外壁とすること。	外壁は、コンクリートと断熱材により断熱性を確保する計画としております。ご意見のとおり、夏の暑さ、冬の寒さ対策については、重要であり、冷暖房効率を高めランニングコストの低減を図るため、窓の数を必要最低限とした計画としております。
36	6. 立面計画	市役所は市の顔であり飽きのこないシンプルなデザインで50～60年持たせる建物であってほしい。このデザインの建物だと外壁の汚れ雨漏り等などでちのち修繕費がかかり維持管理費が高額になる恐れがある。補助率が高いからと国のデザインをそのまま受け入れず、多少補助率が下がってもA案、B案、C案という検討したほうが良いと思います。	市民や職員にとって使いやすく利便性が得られる平面計画を最優先に考え、また、建設コスト増の最大の要因となる床面積を抑えることを念頭に検討してきた結果であり、シンプルな外観となっております。外壁の汚れについては、汚れが付きにくい保護塗装を施工する計画としており、屋上の雨漏りについては、容易にメンテナンスに向かえるよう階段及びエレベーターを利用できる計画とすることで、日常点検による防水などの不具合を早期に発見することができ、修繕費及び維持管理費を抑制できると考えております。 なお、補助率と外観には関係性はありませんが、本基本設計（案）に至る過程においては、複数案を検討しブラッシュアップを重ねてまいりました。これ以上の複数案を作成することは、整備事業計画に遅れが生じ、さらなる物価上昇による建設コストの増高は避けられず、今後の地震等へのリスクや建設コスト増のリスクを抱えることとなるため、現実的ではないと考えております。
37	6. 立面計画	全体の意見としては、建物の構造自体は免震構造でよいと思うが、外観のデザインにおいて、小矢部市の顔である市役所が、誰が見ても素敵だと思うようなデザインになっていない。私たち市民が誇れるようなデザインでお願いしたいと思えます。石動西部地区には、石動小学校、市民交流プラザと、素晴らしい施設があります。小矢部市役所も石動西部地区に隣接する地域で、基本設計のような箱を合わせたようなデザインでなく、市民が納得するようなデザインでお願いします。	市民や職員にとって使いやすく利便性が得られる平面計画を最優先に考え、また、建設コスト増の最大の要因となる延床面積を抑えることを念頭に検討してまいりました。コストや環境配慮などを総合的に検討した結果、シンプルな外観となっております。また、新庁舎が街並みに圧迫感を与えないよう、単調で大きな壁面を避け、長い壁面に区切りを入れ建物が分かれているように見せることで周辺の街並みに合わせるとともに、部分的に壁面を道路から後退させることで、街並みへの圧迫感の低減を図っております。
38	7. 平面計画	女性トイレの数が少ないので増やしてほしい。 女性トイレ3基、男性トイレ大3、小3ではトータルで男性トイレが多い。女性の方が時間がかかり、期日前投票などで人が集まることがあるのなら、女性のトイレ数を増やした方が良いように思う。また、オムツ替えスペースがどこにあるのか記載がないので知りたい。	トイレの数については、各階の職員数と想定される来庁者数から算出した適正器具数にさらに余裕を持った器具数を計画しており、不足することはないと考えております。 おむつ替えスペースについては、1階授乳室に設置します。

No.	意見箇所	意見概要	意見に対する回答
39	7. 平面計画	1階の多目的スペースにギャラリーを兼ねて、市内・県内のクリエイターの活動を紹介してはどうか。(射水市大島絵本館のカフェギャラリーのような感じ)	1階の多目的スペースについては、待合や情報発信等の利用を考慮しており、市内・県内のクリエイターの活動紹介を含めたギャラリーとしての利用については、市民交流プラザや市民図書館をはじめとする他の公共施設を利用いただきたいと思いますと考えております。
40	7. 平面計画	図面とは直接関係ないかもしれませんが、最近は夏非常に暑いため、1階に冷水機(ウォータークーラー)があると良いと思います。	市役所本庁舎はクーリングシェルター(指定暑熱避難施設)として指定していることから、ご意見のとおり、新庁舎1階に冷水機の設置を計画しております。
41	7. 平面計画	非常階段の位置、数が不明。	新庁舎は建築基準法により2以上の直通階段を設ける必要があり、その直通階段に至る歩行距離及び2つの直通階段に避難する際の重複距離には制限があります。新庁舎の階段は、上記の歩行距離等が制限内となるようバランス良く配置したことから、屋外の非常階段の設置は不要となります。
42	7. 平面計画	市民がアクセスしたい各課への動線が解り難い。	新庁舎は、わかりやすい案内表示などにより、誰もがわかりやすく使いやすい庁舎となるよう検討を進めてまいります。
43	7. 平面計画	文書管理共通スペースの確保にあたり、紙文書を出来るだけ減らし、ペーパーレス化を志向するのであれば、方向性として、十分理解できる。その場合、しっかりペーパーレスの基準を明確化し、職員がよく理解し、実行できるようにすべきである。他方、公文書は、紙文書として必要なものがあり、その管理(保管・保存)は、情報公開・個人情報保護の点からも、極めて大切である。このため、まず公文書毎に保管と保存の期間等を明確にする。次に、保管と保存に応じて、そのスペースを積み上げ、例えば保管なら執務場所の近く、保存なら全庁的な共通スペース(今回半減したい)に、十分確保する。今回は、今しかない絶好の機会であり、こうした地道な、基礎的で大切な業務を並行して進めてほしい。	現在、新庁舎整備に向けて、文書量の削減に取り組んでいるところであり、ご意見のとおり、保存であれば書庫、保管であれば執務室内のキャビネットなど期間の見直しとあわせて基準を明確に示し、また必要に応じて見直しを行うなど、計画的にペーパーレス化を進めてまいります。
44	7. 平面計画	まちづくりの拠点施設として、1階フロア全体を直線的配置でなく、回遊して散策できるようにギャラリー化した配置として、例えば、市民栄誉賞受賞者コーナーがあったり、義仲と巴の歴史を知ったり、メルギョウくんメルももちゃんのグッズが買えたりできるようにしていただきたい。そのような観点で観光課が1階にあって観光案内所的役割を果たしていただけるとよいのではないか	1階フロアについては、行政サービスの拠点として主要な窓口を集約する窓口サービスのワンフロア化を計画しております。そのため玄関から入った際にどこにどの課があるかわかりやすいよう直線的に配置しております。ギャラリーとしての利用については、多目的スペースの一角に確保するよう考えております。また、情報コーナーを活用して、観光情報等の情報発信機能を備える計画としていることから、観光案内所の役割を果たすために観光課を1階に配置することは考えておりません。
45	7. 平面計画	「新庁舎は、～賑わいの拠点として再興し、まちの回遊性を高めます。」とあるが、「回遊性を高める」計画となっていないのではないか。	現庁舎敷地内で整備する新庁舎は、周辺に公共施設や石動駅などが集約されたエリアの中心に位置しており、西側には商店街が立地しております。来庁された方が西側商店街へ立ち寄ることにより、まちの回遊性が高められるよう、情報コーナーを活用して、観光情報等の情報発信機能を備えてまいります。
46	7. 平面計画	「現庁舎は、名誉市民大谷米太郎氏～銅像を移設し説明板を設置します。」とあるが、加えて現庁舎のジオラマを新庁舎入り口内に設置し、翁のご功績を後世に伝えるべきではないか。	ご意見のとおり、大谷米太郎氏の功績は後世に伝えるべきであり、銅像横に設置する説明板に現庁舎の写真を添えたいと考えております。
47	7. 平面計画	相談室については、8人程度が入れる部屋が必要。障害者の相談の場合は、本人以外に付添人等関係者も一緒に来るので、ある程度の広さがほしい(南砺市包括支援センター等を参考に)	相談室に入りきらない場合は、少人数用の会議室の利用等での対応を想定しております。

No.	意見箇所	意見概要	意見に対する回答
48	7. 平面計画	各フロアのロビーもしくは待合・打合せコーナー等に施設利用者の作品等がある程度の期間、展示できるスペースがあるとありがたい（1階が望ましいが、何階でも良い）。特に12月の障害者週間においては、是非作品を展示することができれば幸いである。	市役所庁舎は行政サービスや行政情報の提供を主な目的とした公用施設であることから、ロビー等を作品展示の場として恒常的にご活用いただくことは難しいと考えます。ただし、過去には児童作品展など、公共性・教育的意義の高い展示を一定の期間に限り実施した事例があるため、趣旨や展示内容等を確認のうえ、関係部署と連携しながら実施の可能性を検討する余地はあるものと考えております。 また、市内には市民交流プラザやアートハウスおやべなど、展示に適した公共施設もありますので、そちらの活用もご検討いただければと存じます。
49	7. 平面計画	市民が食堂に行くとき、玄関から入ってすぐにエレベーターで4階に上がれるのは良いと思う。市民が利用しやすいように分かりやすい表示を掲げることが大事である。	ご意見のとおり、わかりやすい案内表示などにより、誰もがわかりやすく使いやすい庁舎となるよう進めてまいります。
50	7. 平面計画	1階、2階執務室の室内に現れる6本の柱が、目障りに映る。窓口の事務カウンターを柱位置まで移動し、広くなった中央通路には待合椅子を設置すればよいと思う。	執務室内の柱については、障害とならないよう通常の柱よりも15cm程度細くした65cm角となるよう計画したところです。また、窓口カウンター位置については、柱の通りを避けることで窓口カウンターの数及び見通しを確保するとともに、将来の窓口レイアウトの変更が容易となることなど総合的な検討から窓口カウンター位置を決定いたしました。
51	7. 平面計画	1階、2階執務室の天井には梁型が大きく現れるが、違和感の無いよう工夫する必要がある。	執務室の天井については、階高を抑えた天井高さの確保や、放射冷暖房システム方式の採用、タスクアンビエント照明方式の採用などから天井を設けないこととしております。そのことから、構造体の梁型が現れますが、実施設計（構造設計）の中で、梁型が大きく現れないよう検討いたします。
52	7. 平面計画	1階多目的スペースを吹き抜けにする必要は無いと思う。	1階多目的スペースは、主に来庁者の待合スペースとなることから、開放的に気持ちよく利用していただけるよう吹き抜けを計画したところです。
53	7. 平面計画	1階中央通路を挟んで両側に執務室を配置する方が効率的。	限られた敷地での建替え、主要窓口のワンフロア化及び業務効率などの観点から、中央廊下を挟んで両側に執務室を配置することは不可能なため、執務室を南側にひとまとまりといたしました。
54	7. 平面計画	無窓居室（彩光・通風・排煙・避難）の多いことを懸念。	無窓居室については、主に相談室及び会議室等が該当することとなります。相談室については、執務室との連携及びプライバシーの確保の観点から、無窓居室として建築基準法の制限を遵守することといたしますが、会議室等については、窓を増やすことを含めて実施設計の中で検討してまいります。
55	7. 平面計画	新庁舎の内部については、公務の内容や方法等は時代により、変化していくことが予想されるので、その時々時代のニーズに合わせて、平面のレイアウトが変更可能であり、かつ変更容易であること。	新庁舎の内部については、新庁舎は将来の組織改編等に対応可能な機能的で効率的な執務空間とする計画です。
56	8. 環境配慮計画	ZEB Readyや太陽光発電やBEMSの導入は非常に良いと思います。 また、自然通風の開口部を設けたことも環境に配慮した設備だと思います。 屋上に太陽光パネルが設置されておりますが、更に創エネ量を増やすため、最新の太陽光技術導入が良いと思います。例えば、駐車場に垂直太陽光パネルの設置など。雪国ならではの太陽光技術であり、駐車場の有効活用という観点からも導入を要望します。	垂直型太陽光パネルの設置については、今後、実施設計において検討してまいります。
57	8. 環境配慮計画	整備基本計画では、まだ盛り込まれていないようですが、今後、EVでの来庁者の増加が見込まれますので、来庁者向けや公用車のEV充放電器の充実が必要かと思えます。非常用発電機が最上階に設置されており、BCP対策がされていますが、更なる機能強化の観点からEVの充放電機導入によるV2Bも必要だと思えます。	EV充電器については、必要数を設置する計画としており、詳細については、今後、検討してまいります。 充放電器については、非常用自家発電機や太陽光発電設備等により非常時においても必要な電力を確保できることから、導入の必要性はないと考えております。

No.	意見箇所	意見概要	意見に対する回答
58	8. 環境配慮計画	採光を良くすれば、室内灯の電気代が節約されるのではないか。	採光をとるためにガラス部分を増やすと建設コスト・ランニングコストが増えるとともに、日射熱により空調エネルギーが増大します。自然採光による照明エネルギーの削減よりも空調消費エネルギーの削減が省エネルギー化効果が高いことから、熱負荷が大きいガラス面積を減らして、コストの抑制と高い環境性能の実現を図った計画としております。
59	8. 環境配慮計画	自然光の利用が必要。	自然光の利用については、採光をとるためにガラス部分を増やすと建設コスト・ランニングコストが増えるとともに、日射熱により空調エネルギーが増大します。自然採光による照明エネルギーの削減よりも空調消費エネルギーの削減が省エネルギー化効果が高いことから、熱負荷が大きいガラス面積を減らして、コストの抑制と高い環境性能の実現を図った計画としております。なお、廊下の突き当りや共用部の待合いスペースは、自然採光を多く取り入れるよう計画したところ です。
60	8. 環境配慮計画	免震エキスパンションが500mm程度あるとして3ヶ所の出入口以外は外構、植栽等で一般人が本建物に近寄れないようにするのですか。	建物周りの免震エキスパンションについては、パネル又は片持ちスラブのはね出しにより塞ぐ計画としていることから、進入防止対策は不要と考えております。また、地震時に建物がゆっくり大きく動くことを説明するサインを建物周囲に取付け、注意喚起を行います。なお、メンテナンス用の開口（ドライエリア）については、手すりを設け、進入防止対策を講じます。
61	8. 環境配慮計画	雨水貯留システムを既存建物を利用して計画されていますが、そのカバーはどのようにされるのでしょうか。既存RC床版では強度に問題が生じ、それを補強するにあたってそれを覆う地下構造物を新設することになりませんか。	既存庁舎の地下躯体を活用した雨水貯水槽のカバーについては、既存の床版は撤去し、地下外壁を仮設山留とした内側に既製品貯留槽ユニットを埋設後、埋め戻し土及びアスファルト舗装にて表層を覆う計画としております。
62	9. 事業スケジュール	業務とめるのはしてほしくない。業務をとめずに新庁舎整備。なるべく早く予算をつかわずやってほしい。	現庁舎において業務を行いながら新庁舎を建設し、工事完成後に新庁舎の供用を開始することから、業務をとめずに新庁舎に移行いたします。整備スケジュールに遅れが生じますと、物価上昇により建設コストが増えるリスクがあることから、ご意見のとおり、引き続き、スピード感を持って新庁舎整備を進めてまいります。
63	10. 概算事業費	67億円の設計見積もりですが、最近の公共建築物は多くが入札不調となり設計の見直しをする物件が多く見受けられています。今回の基本設計もそうなると思われませんか？そもそも67億円もの巨額を投じる必要性があるのでしょうか？再考されることを望みます。	概算事業費については、被災した庁舎の建替えに要する費用として近年の物価上昇を踏まえて算出しております。いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。
64	10. 概算事業費	財政破綻する自治体はテーマパークや箱物を無計画で作る所が大半、事業費について67.6億円を掲示されているが実際に更に上振れする恐れはないか？システム導入費も試算に入れるべきでないか？地震の国からの特例債見込金額、市の返済金額と返済期間は最終どの様な計画がお尋ねしたい。	概算事業費については、被災した庁舎の建替えに要する費用として近年の物価上昇を踏まえて算出しております。 地方債（借入れ）については、被災した公共施設を建て替える場合におけるメニューである一般単独災害復旧事業債や緊急防災・減災事業債を活用し、財源計画でお示した59.4億円を借り入れ、その元利償還金の70%～85.5%が国から交付される普通交付税に算入されると見込んでいます。 また、返済金額は59.4億円及びその利子に相当する額、返済期間は20年～25年程度を見込んでいます。 サーバ移転費及びシステム導入費等については、現在こういった移転手法がよいかなど調査を行っているところであり、その調査結果により見積もることとしております。

No.	意見箇所	意見概要	意見に対する回答
65	その他	<p>せっかくリニューアルするならば、業務面で効率的かつ先進的な市役所を目指していただきたいと思えます。</p> <p>特に今年に入ってからのAIの進化スピードは凄まじく、民間企業で働く身としては、もはや数ヶ月前の常識が通用しない時代になりつつあると感じています。</p> <p>まずは不要な仕事を整理してやめる→ペーパーレス化→システム化、自動化 少ない人員で最大限の成果があげられる体制を作り、余った人員でますます増えていく高齢者へのITサポートや介護サービスなど、人間にしかできない仕事に注力していく。人口減少時代に地方が行政サービスを長年にわたり維持していくには、業務と組織の改革が必要不可欠だと思います。</p> <p>そういう意味で、フリーアドレス化を目指すという点には賛成です。やってみると分かりますが、ペーパーレスせざるを得なくなります。</p> <p>私どもも民間企業としてさらに成長し、地域貢献できるよう頑張りますので、市役所の皆さんにもぜひ頑張ってください。</p>	<p>新庁舎は将来の組織改編等に対応可能な機能的で効率的な執務空間とする計画です。現在、新庁舎整備に向けて、文書量の削減に取り組んでいるところであり、計画的にペーパーレス化を進めてまいります。また、ご意見のとおり、限られた人員でも市民サービスを維持していくため、「業務量調査」を行いながら、業務見直しの検討やデジタル化の推進を図ってまいりたいと考えております。</p>
66	その他	<p>この基本設計は、インシャルコストは高くなりそうだが、ランニングコストについては部分的に説明もされているが、少し低減されることになるのか。本意見の方向案では、むしろインシャルコストはやや低減され、逆にランニングコストが少し高くなるのかもしれない。</p>	<p>本基本設計（案）は、コスト低減を意識して検討を重ねてきたものであり、建設コストを抑えた計画であると考えております。ランニングコストについてもコスト低減を図っており、実施設計においてもコスト低減を図るよう努めてまいります。</p>
67	その他	<p>新庁舎が将来を見据え、市民に明るい希望もアピールできるようにして、最少の経費で最大の効果をあげることを意識しつつ、よりきめ細かな工夫をお願いしたい。また、本基本設計案と本意見案などパブコメ全体を踏まえた別案の両案について、コスト面での試算や建物のコンセプト、特徴、外観等も比較提示するなどして、設計案が深められて最終の設計図になって、新市庁舎が形作られ、市民共有の財産となっていくよう願っています。</p>	<p>ご意見のとおり、最少の経費で最大の効果をあげることを意識して進めてまいります。また、パブリックコメントを踏まえた別案の作成については、さまざまな観点から検討を重ねる必要があり、相当の期間を要することになることから難しいと考えますが、パブリックコメントでいただいたご意見については、実施設計の中で検討してまいります。</p>
68	その他	<p>新庁舎の一部（例えば各フロアの共用部分等）について、清掃業務をさせてほしい。</p>	<p>新庁舎の清掃業務については、今後、検討させていただきます。</p>
69	その他	<p>改築をしなければならない根拠について、市民に対し説明責任を果たすために、今後検討委員会等を設置し、専門家の再調査や議会等で議論する必要があると考える。</p>	<p>本庁舎の耐震対策については、「現庁舎耐震化」を基本方針としておりましたが、令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、本庁舎は構造体である柱に大きな被害を受け、また、構造体の専門家が行った調査等において、現庁舎耐震化よりも改築が望ましいと総合的に判断されました。また、現庁舎が令和6年度をもって築後60年を経過すること、1s値が概ね0.3未満であることに加え、中長期的な視点に立った財政計画上においても、総合的な財政負担の抑制と平準化が図られることから、本庁舎の耐震対策について「現庁舎改築（建替え）」による整備を基本方針としました。</p> <p>このことについては、令和6年5月12日に開催した「市長とのタウンミーティング」において市民の皆さんに説明をしご意見をいただき、その上で市議会にも報告を行っております。現在も市議会特別委員会において継続的な審議を行いながら、新庁舎整備事業を進めております。</p>
70	その他	<p>補助金交付もありますが、昨今の市の人口減少から、例えば10年後を想定した時、人口減少の現状を何人と考慮しての設計なのか疑問を感じます。最近のこども園設立等、人口減少を想定しての建設なのか日頃から疑問を感じているからです。将来の負担等も大変だと思います</p>	<p>新庁舎の平面計画は、現状の人口・職員数を想定した計画となっておりますが、将来の組織改編等に対応可能な機能的で効率的な執務空間とする計画です。</p>

No.	意見箇所	意見概要	意見に対する回答
71	その他	幾社かの設計者からの中からの選択と思いますが、どちらの設計事務所？又小矢部出身の人も幾らか関わっているのでしょうか。出身者優先が望ましいと思うからです。	設計事業者については、公募型プロポーザル方式により、事業者の庁舎の設計実績、提案力、実施体制、価格の妥当性などを審査し、決定したところです。設計事業者は2者による設計共同体であり、そのうちの1者については小矢部市の事業者です。
72	その他	広い外壁に投影設備（広報の為に）。	屋外広報については、新庁舎の南東角に計画しているポケットパークに屋外広告塔の設置を計画しております。